# 2027 年度　臨床専門専修科生研修プログラム

| | |
|---|---|
| 講座名 | 老年歯科補綴学講座 |
| 主任教授 | 上田貴之 |
| プログラム責任者名<br>(プログラムの管理・運営) | 上田貴之 |
| プログラム修了時に資格要件を満たす学会認定等の名称 | ①当講座の臨床研修プログラム修了証授与<br>②日本補綴歯科学会認定医・補綴歯科専門医<br>③日本老年歯科医学会認定医・専門医 |
| 研修期間（入学時期） | 研修期間：原則 3 年間<br>なお，認定医・専門医取得に必要な研修期間は後述の通り。<br>入学時期：原則 4 月 |
| 受入れ人数（総数） | 年 5 名程度 |
| 指導医 | 補綴歯科専門医（日本歯科専門医機構）<br>　上田貴之、竜　正大、髙野智史<br>日本補綴歯科学会<br>　指導医：上田貴之、竜　正大、髙野智史<br>　専門医：太田　緑<br>日本老年歯科医学会<br>　指導医：上田貴之、竜　正大<br>　専門医：上田貴之、竜　正大<br>　認定医：髙野智史、太田　緑、、中澤和真<br>日本摂食嚥下リハビリテーション学会<br>　認定士：竜　正大<br>日本サルコペニア・フレイル学会<br>　指導士：竜　正大 |
| 修了の認定要件 | 当講座規定の臨床研修プログラムの履修および終了症例報告 |

プログラムの目的

歯科医学の進歩に対応し歯科補綴学や老年歯科医学を中心とした総合的かつ高度な医療を国民に提供でき，また後輩歯科医師，歯科技工士および歯科衛生士を教育することができる歯科医師になることを目的とする。

本プログラムは、日本補綴歯科学会認定医および日本老年歯科医学会認定医申請の所要ケースとリンクして作成されている。そのため本プログラムの臨床研修コースを修了すれば、修了証が授与され、かつ日本補綴歯科学会認定医、日本老年歯科医学会認定医の申請資格を満たすことができる。

| ユニット |
| --- |
| ① 基本技能　　② 歯科教育・コミュニケーション<br>③ 歯科補綴学（総義歯補綴、局部床義歯補綴、クラウンブリッジ補綴を含む）<br>④ 老年歯科医学<br>⑤ 顎顔面補綴 |

| 一般目標（GIO） |
| --- |
| 日本補綴歯科学会，日本老年歯科医学会の学会認定資格を取得するために，必要な知識，技能，態度を修得する。 |
| 行動目標（SBOs） |
| ① 適切な治療計画の立案ができる。<br>② 適切な補綴歯科治療ができる。<br>③ 適切な治療結果の評価ができる。<br>④ 適切な口腔機能の評価・管理ができる。<br>⑤ 適切な高齢者の対応ができる。<br>⑥ 専門医に必要な基本的な研究・教育ができる。 |
| 方略（ＬＳ） |
| ①臨床講義　②相互実習　③老年歯科補綴学講義聴講･実習補助　④マネキン実習　⑤臨床症例　⑥症例報告　⑦特別講義　⑧抄読会　⑨PBL　⑩専門学会参加　⑪臨床研究　⑫院外研修　⑬その他 |
| 評価（ＥＶ） |
| 形成的評価，症例報告，観察記録 |
| プログラム修了時における学会認定医等の具体的申請基準 |
| 各コースで決められた単位および各学会の申請要件を満たしていること。<br>日本補綴歯科学会の認定医は 2 年以上、補綴歯科専門医では 5 年以上の研修機関における研修が必要です。日本老年歯科医学会認定医は，認定医では 3 年以上、専門医では 5 年以上の研修機関における研修が必要です。<br>詳細は，各学会の要件を確認のこと。<br>日本補綴歯科学会　https://www.hotetsu.com/c_2011.html<br>日本老年歯科医学会　http://www.gerodontology.jp/authorization/<br><br>＊日本老年歯科医学会の専門医制度は、日本歯科専門医機構の認定する専門医制度へ移行されます。認定制度については、各自で最新の情報を確認してください。不明な点は、お問い合わせください。 |

| 問合せ先 | 講師・髙野智史（takanotomofumi@tdc.ac.jp） |
| --- | --- |